

ベジタリア・これまでの新潟市農業特区での取り組み

革新的稲作営農管理システム実証プロジェクト

新潟市の国家戦略特区の指定を契機に、H27年5月水田管理の効率化に向けて水田センサー「PaddyWatch」を導入し、大規模実証を開始。



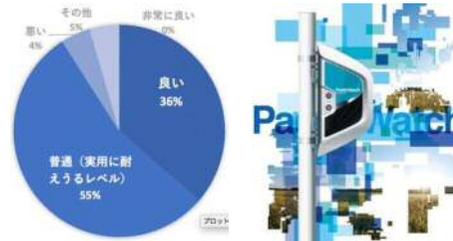
プロジェクト概要

- ・ H27年度は機能や活用状況を「定性的」に検証
- ・ H28年度は労力削減効果を「定量的」に検証

年度	検証内容	モニター数	設置台数	水稲作付面積
H27年度	定性的評価	22名	300台	460ha
H28年度	定量的評価	4名	151台	52ha

【検証結果】

水回りにかかる労力を最大で76%削減。平均でも43%削減。非常に有効なICT機器であると、9割以上の農業者が評価！モニターの声を反映し改良、全国販売開始！



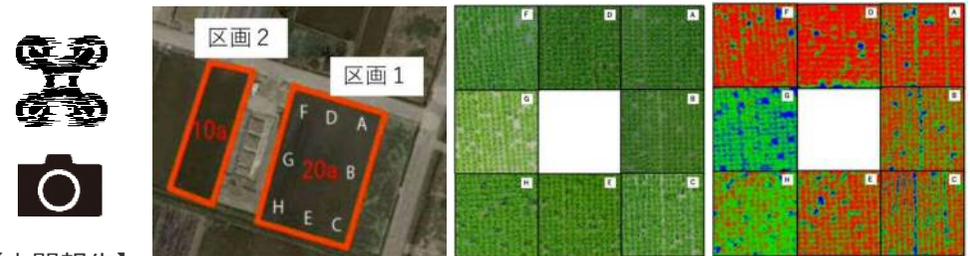
ドローン実証プロジェクト

国家戦略特区である新潟市において、H28年9月ドローンを活用した水稲のモニタリング及び栽培管理、海岸保安林のマツ枯れ対策及び維持管理の手法開発を目的とする「水稲プロジェクト」と「海岸保安林プロジェクト」の2つのプロジェクトから成るドローン実証プロジェクトを開始。



プロジェクト概要

ドローン（鳥の目）と水田センサ（虫の目）を連携させ、フルパッケージでICT農業を推進。



【中間報告】

水稲の生育状況を的確に把握し高品質米の生産管理に繋げるため、平成29年8月に高解像度カメラを搭載したドローンによる空撮を公開し、画像解析結果の中間報告。今後、水田センサやドローンで得られたビッグデータを解析稲作の低コスト化、高品質化、収量アップを実現へ。



道路冠水の様子



①新潟市西区上新栄町3丁目（平成29年8月25日撮影）
時間雨量：24.5mm



②新潟市西区五十嵐1の町（平成29年8月8日撮影）
時間雨量：26.0mm



③新潟市西区五十嵐2の町（平成29年8月25日撮影）
時間雨量：24.5mm



④新潟市西区木場（平成29年7月24日撮影）
時間雨量：17.0mm



プロジェクト概要

遠隔監視ソリューションで 道路冠水被害を最小限に！

- ★ 現地状況がリアルタイムに把握できず、到着したら既に解消している場合もある
- ★ 人員・移動手段など、リソースに限りがあり、注意箇所全てをカバーできない
- ★ 冠水してからの対応では通行止めなどが必要で、住民生活に支障がでる
- ★ 冠水で渋滞してしまい、排水のための作業車両が現地に近づけない

広域環境状況を常時監視！

必要な場所で正確なタイミングで適切な対応を！





道路冠水・防災プロジェクト

遠隔監視・アラート通知による迅速な初動、的確な現地対応、対応の進捗も可視化
冠水による被害や、住民への影響を最小限に抑制する

vegetalia

